

重文札幌農学校第2農場農機類標本台帳

一般名称: ティラ・歩行式トラクタ		現地の通称: メリーティラ3型 Merry tiller-3	
資料種別: ☒ 製品-実物 ☐ 製品-レプリカ ☐ 製品-模型 ☐ 製品図面 ☐ 写真等 ☐ 図書掲載 ☐ その他			
資料種類: 動力・分野		管理プレートNo. 牝牛舎121 台帳No.	
☐ 人力用具 ☐ 耕起前器具 ☐ 管理防除 ☐ 貯蔵関連 ☐ 畜力用具 ☐ 耕耘用具 ☐ 収穫機 ☐ 施設類 ☐ 原動機具 ☐ 整地用具 ☐ 調製機器 ☐ 機素 ☒ トラクタ用機 ☐ 施肥播種 ☐ 加工機器 ☐ その他			
製作者・会社: (株)細王舎工場、		製造市・国名	
製造年_購入年,標本収集年: 1954年(昭和29年)頃製			
使用目的・ 使用方法 等		動力機＋耕起作業機	
利用経過 _収集記 録_意義 等		ティラ形の元祖は、標本のメリーティラであり、わが国には1952年（昭和27年）に初輸入された。本機は、エンジンから本体へのVベルト伝動で多段プーリの変速機構とベルト張りでクラッチを兼ね、この受動軸から車輪軸へはチェン伝動としてトラクタながら歯車を利用しない単純構造である。さらに作業機は、車輪を外して取り付け、土を攪拌するように抵抗棒で暴走を押し止める方式が特徴である。しかし、日本の水田の耕うん作業には能率が悪く、そのままの形では実用性が認められなかった。しかし、1954年にわが国の細王舎がメリー社と技術提携して国産化し、わが国の水田作に適応させる作業機を装着して売り出すようになってから急激に普及した。輸入された原形にはクリントン空冷2PSガソリンエンジンなど軽量安価なエンジンが搭載されていた。水田農家1戸に1台までに普及した。	
仕様書_解 説等		国産化製品：2.2 kW/3000 rpm 前進3段 機関：シバウラGE18-A 4サイクル空冷縦 形単気筒高速ガソリンエンジン 石川島芝 浦機械(株)	
右に全体図			
外観特色 関連図等			
資料の 所在		牝牛舎 資料への特記事項	
資料管理 経過			
作業メ モ・上掲 欄の超過 文追記			

台帳管理番号